

平成 29 年度第 15 回役員会議事概要

- 1 日 時 平成 30 年 3 月 13 日 (火) 8:33~10:08
2 出席者 大西学長, 大貝理事, 井上理事, 神野理事
3 列席者 佐藤監事, 牧監事, 児島事務局長, 西村事務局次長 (管理・運営担当)
山内事務局次長 (企画・評価担当)
4 場 所 学長室

5 議 題

[審議事項]

- (1) クロスアポイントメント制度の適用について
(2) 本学における研究活動『人間・ロボット共生リサーチセンター』

[審議事項]

- (1) 平成 30 年度国立大学法人運営費交付金等について
(2) 研究, 教育, 社会貢献活動等に係る表彰及び特別貢献手当について

6 議 事

[審議事項]

- (1) クロスアポイントメント制度の適用について

児島事務局長から, 資料「審議 1」に基づき, クロスアポイントメント制度の適用について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり適用することが承認された。

- (2) 本学における研究活動『人間・ロボット共生リサーチセンター』

岡田人間・ロボット共生リサーチセンター長から, 資料「審議 2」に基づき, 本学人間・ロボット共生リサーチセンターにおける研究活動等について説明があり, 意見交換が行われた。

主な意見等については以下のとおり。

- ・弱いロボットを幅広く認知してもらうための商品化等, 今後の展開として, 企業等との関わりをどのように行うか興味深いものがある。
- ・開発したロボットを活用した, クラウドファンディングによる事業展開等の試みを行うことができれば面白いのではないか。
- ・弱いロボットのような, 他のロボット研究と一線を画した, 人との共生をコンセプトとした研究は非常にユニークであり, 新たな方向性を示す事ができるのではないか。

[報告事項]

- (1) 平成 30 年度国立大学法人運営費交付金等について

児島事務局長から, 資料「報告 1」に基づき, 平成 30 年度国立大学法人運営費交付金等について報告があった。

主な説明内容は次のとおり。

- ・1月16日開催の第12回役員会の時点で未伝達であった運営費交付金の重点支援の評価結果及び機能強化経費「機能強化促進分」の伝達が2月末に文部科学省からあり, 本学の平成30年度運営費交付金等予算金額が全て内示された。
- ・運営費交付金の重点支援における戦略の評価結果はA~Eの5段階で評定され, 本学の戦略1はA, 戦略2はB, 戦略3はCの評価結果となった。
- ・各戦略の評価結果に応じた再配分率を係数影響額に反映した結果が伝達されたが, 詳細な計算方法について明らかにされていない部分がある。
- ・運営費交付金総額から退職手当等の特殊要因を除いた前年度からの増減額は, 36,913千円増となっているが, 国立大学法人改革強化推進補助金(若手人材支援事業)にて措置されていた36,000千円が平成30年度より運営費交付金の内数として算定されるため, 差し引いた金額は前年度と同規模となっている。
- ・第3期中期目標期間に係る財務基本方針について, 年度毎に閣議決定される「予算編成の基本方針」を踏まえ, 内容の一部修正を行う。

- ・平成30年度当初収入予算見込額は54億531万円と前年度より3,752万円減を見込んでおり、支出予算の編成においては必要最低限の人件費積算とした他、既存の事業・業務を見直し予算抑制を図ると共に、学長のリーダーシップの下、重点事項については増額の配分をする予算編成としている。

(2) 研究、教育、社会貢献活動等に係る表彰及び特別貢献手当について

児島事務局長から、資料「報告2」に基づき、研究、教育、社会貢献活動等に係る表彰及び特別貢献手当について報告があった。

主な説明内容は次のとおり。

- ・前回役員会にて承認された研究、教育、社会貢献活動等に係る表彰及び特別貢献手当について、表彰者及び手当支給対象者を決定し、表彰については3月5日及び6日に実施し、特別貢献手当を3月の給与支給日に支給する。
- ・前回役員会にて学長一任により決定することとなった、教育・研究特別表彰対象者及び特別貢献手当については、平成26年度に採択された『スーパーグローバル大学創成支援事業』が中間評価においてS評価を受けたことから、スーパーグローバル大学推進室を対象者とし、表彰及び特別貢献手当の支給を行う。

以 上